

第1グループ

意見交換会の内容

- ・自治会内のコミュニケーションが希薄で見守り・安否確認に不安
- ・自治会の世代交代が出来ない（後継者が不在で不安）
- ・協和会では組織の世代交代を図っている。
- ・しっかりした自治会は、リーダーが存在し、行事等で新旧のコミュニケーションが取れている。
- ・地区社協では、自治会を核として様々なグループを参加させている。
- ・輪番制の役員は、後継者につなげられない（リーダーを固定化する必要がある。）
- ・自治会が弱体化して地域の行事が全くない。
- ・自治会の防災委員に対する養成講座を市で行ってほしい。（BOSAI まちづくり伝道師養成講座を紹介）
- ・BOSAI まちづくり伝道師養成講座を各自治会に案内を出してほしい。
- ・防災行政無線が聞き取りづらい。
- ・集合住宅は、表札を出さない者、個人情報と言って連絡網作成に協力しない者がいる。
- ・自治会長のなり手がいない、自治会役員をするならと自治会を辞める者がいる。
- ・マンションの防災訓練を固定化し、高齢者の安否確認を毎年行っている。
- ・どこの避難所に行けばよいかわからない。コミセンが近い。（コミセンに支援物資は届かない）
- ・在宅非難の場合は支援物資を届けてもらえるのか？（避難所に届く）
- ・人の出入りが激しく、新旧住民の間で世代ギャップがある。
- ・災害時の家族との連絡方法、家庭での備蓄は1週間程度準備、下水管が破損していない事が確認できるまでトイレは使えない等マニュアルを参照して家庭ごとに準備を。

議会報告会・意見交換会第2グループ記録

(主な意見)

- ・災害時に逃げ込んだ避難場所の問題
女性が結束する必要がある。
男性の要望、男性中心の考えでなく、女性の力、女性の要望をより防災にいかす。
地域の防災イベントで地区の防災訓練が大切。
- ・昔からの農家の方の女性、婦人会は炊き出しをしているがそれだけでは良くない。
- ・マンション 高層に住んでいる人は近所付き合いを余りしない。
災害時の要支援は団地だけでなく地区社協を中心に、管理組合があるが自治会が防災を考えなければならない。
町の構造から土砂崩れや、避難トイレの検討
- ・新倉小と下新倉小学校の2つの学校の中の問題
避難場所として下新倉小学校の立地が良くない、新河岸川の洪水、液状化が心配
- ・新河岸川の和光市地区は拡幅工事が遅れているが現在拡幅工事中です。
- ・下新倉地区は低いので津波の問題
お年寄りはず先ず自分の身を守る。
西大和団地はエレベーターが無い。平均年齢が高い。
小中学校に協力依頼し、中学生がお年寄りを背負う。
第三中学校にボランティアの炊き出しを協力
- ・西大和団地と若い自衛隊がいる和光官舎との交流をされてはどうでしょうか
- ・マンション自治会は自主防災意識、経験が積み重なっていない。 防災訓練が必要
- ・700人のマンションですが、ほとんどが避難場所を知らない。
- ・災害の発生時間、朝か、昼か夜かの時間によって動けるように対応が必要
- ・土曜日に小学校で親子の防災訓練
- ・自治会加入率が低いので中学校の協力要請
- ・昼間は高齢者のみ、地元の中学生の訓練、高齢者を背負う、土のう作りなど
災害時最初は自助、自分で守る、次に共助、公助は市役所は遅れる。
マンション生活者は戸別生活者に比べ地域、隣から孤立気味
- ・生活弱者を助ける自治会の組織、人々それぞれ顔見知りになる。
- ・防災フェアでの親子参加、防災意識を高める。

以上

平成 29 年 4 月 27 日議会報告会第 3 グループ意見交換会記録メモ

- 協和会の地域防災訓練は毎年 11 月に行われ、班長宅に集まり班長引率で避難所に集まる訓練を行っている。
- 50 世帯程度の自治会のない新興地域もあり、共働き世帯が多く昼間は人がいなく防災対策が課題。家庭の食糧備蓄が 3 日から 1 週間に変更されるなどを周知するなど、市の広報などによる啓発の必要性や地域の中核となる防災リーダーを養成することなどが課題。
- その世帯の生活状況により行事が昼間だと参加できない世帯が出てくるので行事を夜も行うなど地域で集まる機会を増やし、地域のきずなを高め防災力を向上する工夫が必要。
- 共働き世帯が多い地域などは自治会加入が難しいので回覧板を回すなどの手法で地域のつながりを高めることも考えられる。
- 水害については危険と思う経験があり、高台に避難することを常に意識している。
- 孫や子どもにはいざ何かあったら、畑があるばーちゃん宅に避難するようにしている。米を蓄え米と菜っ葉で何日か凌げるように考えている。
- 非常トイレについて和光高校に備わっていると聞いている。他には避難所でマンホールトイレなど非常トイレが設置できるようになっている。
- 防犯メールを見ていると盗難事件が多く懸念している。子どもが交通事故で死亡することがあるが、子どもの交差点の横断には注意して横断するよう指導が必要。また子どもが歩道を自転車で猛スピードで走るのが心配。